



北海道大学

自律型健康増進・生活支援のための
地域サポート技術の開発検証

北海道大学大学院保健科学研究院

研究代表者 小笠原克彦

研究分担者 良村 貞子

研究開発の目的

- ✓ 超高齢者・寒冷豪雪・無医地区における健康意識の改革
- ✓ 遠隔見守りを可能とする自律型健康増進・生活支援

ICTによる
自律型健康増進・生活支援のための
地域サポート技術の開発検証



1. 北村地区の高齢者を対象とした現地調査・・・ニーズの把握
2. 生活と健康の情報を活用した高度遠隔健康相談システムの開発



岩見沢市北村での調査

対象者：同意を得た北村地域高齢者34名
(平均年齢77.1±6.5、男性19名、女性15名)

- 栄養調査：低栄養の恐れあり：11.8%
- 結果：季節別に見た全国データとの歩数の比較



	季節	全国(歩)			北村(歩)			p値	
		平均	標準偏差	標準誤差	平均	標準偏差	標準誤差		
男性	12-3月	4918.3	± 84.7		2792.8	± 84.7		<.0001	*
	4-6月	4918.3	± 95.9		4208.1	± 137.3		<.0001	*
女性	12-3月	4500.7	± 121.4		3764.4	± 79.2		<.0001	*
	4-6月	4500.7	± 114.8		5085.5	± 116.2		0.0005	*

※全国データは平成23年度国民栄養調査、厚生労働省

積雪の影響で運動が抑制されている可能性が考えられる



北海道大学

i-Padによる遠隔健康相談(22家庭)



北村の高齢者(在宅)



看護師

課題

- ・通信環境により画像の遅れが発生
- ・採光状況により画像が見にくい
- ・高齢者のi-Pad利用が難しい



X-Boxによる遠隔健康相談(2家庭)



北村の高齢者(在宅)



看護師(在宅)

課題

- ・センサーの微妙な設定が難しい
- ・ジェスチャーによる操作は練習が必要
- ・採光状況により操作ができなくなる



現在の展開

- ✓ 北海道大学
 - ✓ COI-T: Center Of Innovation
 - 食・運動・健康・医療をつなぐ知で家庭に拓く
 - 次世代健康生活創造の国際拠点
- ✓ 健保組合 H25.8:遠隔装置による特定保健指導の解禁
 - ✓ ICTを活用した特定保健指導
- ✓ 調剤薬局:ツルハドラッグ
 - ✓ 自己採血による健康管理
 - ✓ 電子お薬手帳との連携
- ✓ 市町村:岩見沢市
 - ✓ 岩見沢市予算による全市での展開に拡張



今後の展開構想-北大COI

